

留学計画 タイトル	スタートアップ大国イスラエルから学ぶ イスラエル流スタートアップエコシステムの作り方		
大学名等	佐賀大学 経済学部	学年 (採用時)	4年
採用年度	2017年度	留学期間	3ヶ月間 (2017/12/15~2018/3/15)
留学国	イスラエル	留学先 機関	Jakore, inc / Jakore Ventures IL
事前・事後インターンシップ先機関	株式会社 オプティム		

留学について

目的：イスラエルのスタートアップエコシステムを理解し、日本企業との協業の可能性や現時点における問題点を理解する。またイスラエルで学んだことを地元佐賀に還元できるようなアイデアを持ち帰り佐賀で実践する。

活動内容： インターンシップ3カ月

日本からイスラエルへの進出を模索する企業向けのデータ作成やマーケティングリサーチや日本企業とのミーティングやデリゲーション、現地スタートアップやベンチャーキャピタルとのミーティング、そして日本企業向けやイスラエルのスタートアップ向けの記事やブログの作成などインプット、実践、アウトプットの3つを軸に活動を行った。

普段のインターン終了後には現地で行われるピッチイベントやネットワーキングイベントに参加したり、現地で繋がった企業や政府の方々との交流を行った。また休日などはイェルサレムやパレスチナに赴き、文化や歴史について学んだり、イスラエルの大半を占めるユダヤ人が信仰するユダヤ教のパーティーに参加し現地の文化を理解することでスタートアップエコシステムに入っていけるように努めた。



*左写真はイェルサレムにある「嘆きの壁」。多くのユダヤ人が壁の前で祈りを捧げている。またこの壁の奥にはムハンマドが昇天したと言われる「岩のドーム」がある。イェルサレムはキリスト教、ユダヤ教、イスラム教などの聖地であり、宗教や歴史について学ぶ機会が多かった。

*平日の午後には様々なテーマのイベントに参加した。デスクワークを抜け出し、実際のイスラエルのスタートアップと交流を深めることで、スタートアップエコシステムへの理解やネットワークの構築に努めた。



*写真右はインターン先Jakore VenturesのCOOであるYony Golan。左奥は同じインターンの同期のYosuke Nio、写真左手前が私。Yonyからは、ビジネススキルだけでなく、イスラエルと日本の経済的な連携の可能性や問題点や今後のJakoreの方向性、私自身へのフィードバックなどを通して多くのことを学ぶことができました。



*友人とともに在イスラエル日本人向けに企画・開催したビットコインをテーマにしたセミナー

成果：

現地のスタートアップやベンチャーキャピタルとのミーティングや各種イベントを通しイスラエルにおけるスタートアップエコシステムの特徴やイスラエルや海外から見た日本企業の特徴や日本企業の海外進出における特徴、日本企業とイスラエルの企業間のビジネス(特にアライアンス、M&A、ベンチャー投資)におけるトレンドなどを把握することができた。

また現地で感じたことを日本やイスラエルの向けの記事やブログの作成を行った。この経験を糧に今後のキャリア形成においてもイスラエルで培ったグローバルな視点や専門性を活かしていきたい。

伝えたい事：後輩たちへ

一度海外に出ると世界から見た日本の良いところや足りないところなど様々な視点から日本をそして自分のバックグラウンドについて学ぶ機会が増えると思います。その一つ一つの気づきを胸に刻みながらさらに自分のやりたいこと、自分のミッションに向かって突き進んで下さい。

伝えたい事：支援企業の皆様へ

支援企業の皆様、この度はこのような大変貴重な機会を頂き有難うございました。皆様がこのような機会を与えてくださったように、私も近い将来佐賀の若者に少しでも新たな世界に羽ばたくきっかけとなるような機会を与えられるようになりたいと思います。引き続きご指導お鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

事前・事後インターンシップ

受入機関名	株式会社 オプティム
期 間	事前： 2017/12/4 ~ 12/12 (7日間)
	事後： 2018/8/20 ~ 9/11 (13日間)

内容：

事前インターンシップではオプティム様が取り組んでいるAgri Managerに活用するAIにトマトなどの収穫の状態を学習させることや、実際にフィールドワークとして役場の方との会議やドローン発着地の視察・検討などを行フィールドワークも行わせていただいた。オプティム様の主軸であるソフトウェアなどはイスラエルにも多く通じるものがあり事前に様々なことを学ぶ良い機会となりました。